

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成元年 11 月 15 日～12 月 31 日)

| 研 究 会                                         | 日 時                                 |                                        | 会 場                      | 備 考  |
|-----------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------|------|
| コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン                           | 11月16日(木)                           | 10：30～17：15                            | 金 沢 大                    | 前号参照 |
| デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム                         | 11月17日(金)                           | 10：00～15：00                            | 広 大                      | 同 上  |
| ア ル ゴ リ ズ ム                                   | 11月20日(月)<br>11月21日(火)<br>11月22日(水) | 9：15～17：30<br>8：50～17：45<br>8：50～17：15 | 福岡リーセント<br>ホテル           | 同 上  |
| 計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ                           | 11月20日(月)<br>11月21日(火)              | 13：30～18：30<br>9：00～16：30              | 神戸ポートピア<br>神戸国際会議場       | 同 上  |
| 記 号 処 理                                       | 11月22日(水)                           | 13：00～17：00                            | 富山県立技術<br>短大             | 同 上  |
| ソ フ ト ウ ェ ア 工 学                               | 11月24日(金)                           | 9：00～17：00                             | 青学大(渋谷)                  | 同 上  |
| 人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ                         | 12月 1 日(金)                          | 10：00～17：00                            | 奈 良 文 研                  | 下記参照 |
| マ イ ク ロ コ ン ピ ュ ー タ と<br>ワ ー ク ス テ ー シ ョ ン    | 12月 1 日(金)                          | 14：00～17：00                            | 機械振興会館                   | 同 上  |
| 情 報 学 基 礎                                     | 12月 7 日(木)                          | 12：30～17：00                            | 同 上                      | 同 上  |
| 数 値 解 析                                       | 12月 8 日(金)                          | 10：00～17：00                            | 同 上                      | 同 上  |
| ソ フ ト ウ ェ ア 工 学                               | 12月 8 日(金)                          | 13：30～17：00                            | 同 上                      | 同 上  |
| ソ フ ト ウ ェ ア 基 礎 論 } 合同<br>プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 } | 12月 8 日(金)                          | 10：00～18：00                            | 富士通情報<br>処理システム<br>ラボラトリ | 同 上  |
| 設 計 自 動 化                                     | 12月14日(木)<br>12月15日(金)              | 10：30～17：20<br>10：00～16：40             | 奈 良 女 子 大                | 同 上  |
| グ ラ フ ィ ク ス と C A D                           | 12月14日(木)<br>12月15日(金)              | 13：00～16：40<br>10：00～17：00             | NTT(横須賀)                 | 同 上  |

◆ 第 3 回 人文科学とコンピュータ研究会 (発表件数：6 件)

(主査：杉田繁治，幹事：小沢一雅，及川昭文，洪 政国)

日 時 平成元年 12 月 1 日 (金) 10：00～17：00

会 場 奈良国立文化財研究所 埋蔵文化財センター 研修棟 視聴覚教室

〔奈良市二条町 2-9-1，近鉄：西大寺（北口）下車，徒歩 13 分。Tel. 0742 (35) 0937〕

議 題

(1) 画像データベースと視考支援環境 笠原久嗣，岸本登美夫 (NTT)

〔概要〕 視考支援環境における人間とコンピュータの相互協調のための，画像データベースのインタフェースを紹介する。

(2) 英文学・英語文献学とコンピュータ 佐藤治夫 (日大)

〔概要〕 英語英文学研究における電算機利用の現状と，発表者の研究例を挙げ電算機ユーザからの要望などに触れる。

- (3) 漢字部首情報からの日本語単語の推定 梅田三千雄 (大阪電通大)  
〔概要〕 漢字の部分形状, 特に部首情報を知識として, 日本語単語がどのくらい推定でき, 漢字が決定できるか定量化する.
- (4) 集落遺跡間ネットワークのモデル化 ―弥生時代中期の畿内社会と石材移動―  
加藤常員 (岡山理大), 小沢一雅 (大阪電通大), 今枝国之助 (岡山理大)  
〔概要〕 ある一群の集落遺跡を想定し, 遺跡間のネットワークを提示するモデルを提案する.
- (5) 年輪年代学と年輪データのデータベース化について 光谷拓実 (奈良文研)  
〔概要〕 わが国における年輪年代研究法の現状と年輪データ (年輪幅の計測値データ) に関するデータベース化について述べる.
- (6) パネル討論: パソコンソフトに求められるもの―人文科学者からの提言― 司会 八村広三郎 (京大)  
パネリスト 内田保廣 (共立女子大), 山本浩一 (情報大), 松井 章 (奈良文研), 当山日出夫 (円満寺)  
〔概要〕 人文科学の研究者にとって理想的なパソコンソフトはどのようなものか? それぞれの研究の立場から提言する.
- (7) 見学: 奈良国立文化財研究所コンピュータ施設

## ◆ 第58回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会 (発表件数: 3件)

(主査: 若鳥陸夫, 幹事: 氷治義弘, 森本陽二郎, 山田 剛)

日 時 平成元年12月1日 (金) 14:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷―東京タワー線東京タワー, 渋谷―東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (434) 8211〕

### 議 題 特集: マルチウィンドウ環境とグラフィカルユーザインタフェース

- (1) OPEN LOOK の目指すユーザインタフェース環境について 和田健一郎 (日本サンマイクロシステムズ)  
〔概要〕 OPEN LOOK が実現したユーザインタフェース機能を中心にその基本思想と概要を紹介する.
- (2) 並行プログラム用デバッガにおけるビジュアルインタフェース 羽鳥和重, 山田 剛, 小原啓義 (早大)  
〔概要〕 X-window 上に作成されたルールベースと連動する, 並行プログラム用デバッガのユーザインタフェースについて報告する.
- (3) Hyper Text の Readability 評価 杉原敏昭, 嶋田敦夫 (リコー)  
〔概要〕 メディアとしての計算機システムを実現するために有用な手法であるハイパテキストの読解性を心理実験を実施して紙の文書と比較して評価・検証した.

## ◆ 第16回 情報学基礎研究会 (発表件数: 6件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 岩野和生, 吉田郁三)

日 時 平成元年12月7日 (木) 12:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室 (所在地は前記参照)

### 議 題 特集: 非文字データベースに取り組む

- (1) 論文掲載図のデータベース 高木隆司 (農工大)  
〔概要〕 論文掲載の図や写真をデータベースとして管理する方式について最近の簡単な試みと, 問題点について述べる.
- (2) 法帖文字データベースの設計 山本毅雄, 朱 平 (情報大)  
〔概要〕 法帖 (書道の手本) の文字およびこれに関連する情報を格納するデータベースの論理設計を論じる.
- (3) ワイルドカードを用いた2次元パターン照合 竹田正幸 (九大)  
〔概要〕 2次元パターン照合に関し, ワイルドカードを用いた柔軟な照合法とその高速なアルゴリズムについて述べる.

## (4) 3次元地図データベースの入力方法の一考察

間瀬実郎 (豊橋技科大)

〔概要〕 ラスタ地図データベースに対して、ラスタエディタによる3次元ベクタ入力方法をインタフェースにしたもの。

## (5) JICST 金属材料強度データベース・JICST 結晶構造データベース

志村和樹 (JICST)

〔概要〕 来年よりサービス開始予定の金属材料強度 DB と結晶構造 DB について、特にグラフィック機能を中心に説明する。

## (6) 化学グラフデータベースにおけるデータの表現およびアクセス法について

礪玉琴 (筑波大)

〔概要〕 関係型データベースを用いて化学グラフデータベースを構築する際のデータの表現およびアクセス法について論ずる。

## ◆ 第31回 数値解析研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 名取 亮, 幹事: 関口智嗣, 野寺 隆, 福井義成)

日 時 平成元年12月8日(金) 10:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)

—10:00~12:00—

## 議 題

## (1) GF {2, x} のラティスに基づく low-discrepancy points

手塚 集 (日本 IBM)

〔概要〕 高次元数値積分、大域的な最良化等で、重要な low-discrepancy points の高速な生成法について述べる。

## (2) 計算桁数と精度の関係について

山下真一郎 (富士通)

〔概要〕 高次代数方程式、数値微分、連立一次方程式、固有値、固有ベクトルの場合の計算桁数と精度の関係について述べる。

—13:00~17:00—

## (3) 有理数演算を用いた線形方程式の解法の振舞い

大柳俊夫, 大内 東 (北大)

〔概要〕 線形方程式の解法を有理数演算を行って誤差を排除して実現した場合の振舞いを実験的に明らかにする。

## (4) 大型疎線形計画問題に対する Reid 法の効率化について

井村浩也, 大柳俊夫, 大内 東 (北大)

〔概要〕 大型疎線形計画問題の基底の更新におけるフィル・イン抑制方法である Reid 法の効率化を図る方法を提案する。

## (5) 高次展開係数の組込みによるミニマックス近似法 (多項式近似の場合)

井上倫夫, 小林康治, 山田秀二 (鳥取大)

〔概要〕 多項式近似の各係数を求めるとき高次展開係数を規則的に組込むことによりミニマックス近似できることを示す。

## (6) 高次展開係数の組込みによるミニマックス近似法 (有理式近似の場合)

井上倫夫, 小林康治, 山田秀二 (鳥取大)

〔概要〕 多項式近似と同一の手法で高次展開係数を規則的に組込むことによりミニマックス近似できることを示す。

## ◆ 第40回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 永田守男)

日 時 平成元年12月8日(金) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室(所在地は前記参照)

## 議 題

## (1) 運用段階におけるソフトウェア信頼性評価法とその応用

山田 茂, 谷尾嘉一, 尾崎俊治 (広大)

〔概要〕 ソフトウェア信頼度成長モデルに基づいて、ソフトウェア故障率による運用段階の信頼性評価法について議論する。

- (2) 代数的仕様記述のためのプロセスモデル 白井 豊 (構造計画研)

〔概要〕 代数的仕様の記述過程における思考・整理手順を記録し、記述過程のモデル化を行ったので報告する。

- (3) An Application of Artificial Intelligence to the Process of Prototyping Real-time Systems

本位田真一, 内平直志 (東芝), 伊藤 潔 (上智大)

〔概要〕 リアルタイム・システムを対象とした種々の AI 技術によるプロトタイピング手法について述べる。

- (4) オブジェクト指向によるソフトウェアプロセスの記述と実行について

荻原剛志, 井上充郎, 鳥居宏次 (阪大)

〔概要〕 生成物を並列に動作可能なオブジェクトと考えて、ソフトウェアプロセスを記述し、実行する方法について述べる。

◆ 第 33 回 ソフトウェア基礎論研究会 } 合同  
◆ 第 23 回 プログラミング言語研究会 }

(発表件数: 11 件)

SF (主査: 佐藤雅彦, 幹事: 柴山悦哉, 田中二郎, 萩野達也)

PL (主査: 寛 捷彦, 幹事: 上田和紀, 徳田雄洋, 戸村 哲)

日 時 平成元年 12 月 8 日 (金) 10:00~18:00

会 場 富士通情報処理システムラボラトリ B 棟 10 階 第 1 セミナールーム

〔大田区新蒲田 1-17-25, JR: 蒲田 (西口) 下車, 徒歩 6 分. Tel. 03 (735) 1111〕

議 題 特集: 並列・分散処理

- (1) 線型不等式制約ソルバーと並列計算 川岸太郎 (ICOT)

〔概要〕 線型不等式により制約された変数の区間を求める sup-inf 法が自然に並列計算で実行されることを示す。

- (2) 分散制約充足アルゴリズム 横尾 真 (NTT)

〔概要〕 複数のエージェントが、エージェント間の制約を満たすように、複数の可能性からの選択を行う問題について述べる。

- (3) 言語 NAIVE による並行処理システムの記述 日野克重 (富士通)

〔概要〕 実行可能な仕様記述言語 NAIVE を開発した。言語 NAIVE の概要と、それにより並行処理システムが、いかに記述・実行されるかについて述べる。

- (4) 並列オブジェクト指向 Lisp-POL の設計について

竹内彰一 (三菱電機), 柴山悦哉 (東工大), 安村通晃 (日立), 佐治信之 (日電), 高田敏弘 (東工大)

〔概要〕 長期的な視野から、並行オブジェクトによる分散プログラムの記述を可能とする Lisp 言語の設計について述べる。

- (5) 並列オブジェクト指向における例外処理と割込み処理 細川 馨 (日本 IBM)

〔概要〕 並列オブジェクト指向言語 Concurrent COB における例外処理と割込み処理について述べる。

- (6) GHC プログラムの操作的意味論の完全性・健全性について 村上昌己 (富士通)

〔概要〕 GHC プログラムの宣言的・不動点の意味論のもとでの操作的意味論の健全性・完全性について述べる。

- (7) GHC によるアドバンスト・リフレクションの試み 田中二郎 (富士通)

〔概要〕 並列論理型言語 GHC を用いての、より先進的なリフレクションの試みについて報告する。

- (8) Reflective Computation in Logic Programming 菅野博靖 (富士通)

〔概要〕 リフレクティブな論理型言語を提案し、意味論に関するいくつかの結果、応用、並列化の可能性について述べる。

- (9) アクターモデルにもとづく並列自己反映計算モデル 渡部卓雄 (東工大)

〔概要〕 アクターモデルに基づく、並列システムのための自己反映計算のモデルを提案し、分散システムへの応用について述べる。

- (10) データ共有型並列プログラムの部分再現性について 高橋直久 (NTT)

〔概要〕 データを共有する複数プロセスからなる並列プログラムに対して、デバッグ等のために実行を繰り返し再現させる技法（再演法）を提示し、部分的に再現させる能力、実行時に記録すべきデータ量、並列性の観点から従来の再演法と比較考察する。

(11) 分散プログラムのデバッグにおける大域的条件について 真鍋義文, 今瀬 真 (NTT)

〔概要〕 再現をベースにした分散プログラム用デバッガのコマンドに大域的条件を用いた記法を導入する。

\* 今回の研究会は電子情報通信学会（コンピューテーション研究会）との共催で開催されます。上記会告は、10月10日現在の申し込みによるもので上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌11月号に掲載されますのでご了承ください。

## ◆ 第50回 設計自動化研究会

(発表件数：16件)

(主査：平川和之, 幹事：数馬好和, 神戸尚志, 山田輝彦)

日 時 平成元年12月14日(木) 10:30~17:20  
12月15日(金) 10:00~16:40

会 場 奈良女子大学 大学会館 2階 大集会室

(奈良市北魚屋東町, 近鉄：奈良(東北出口)下車, 徒歩10分。(Tel. 07436 (5) 1321 内 3432 シャープ松本))  
12月14日(木) —10:30~11:50—

### 議 題

(1) 非決定性順序機械によるハードウェア記述言語の意味付けについて

甲村康人, 石浦菜岐佐, 矢島脩三 (京大)

〔概要〕 ハードウェア記述言語の厳密な意味を定義するための一手法について述べる。

(2) ハードウェア記述言語の意味定義のための非決定的動作モデルシミュレータ

淡海功二, 安浦寛人, 田丸啓吉 (京大)

〔概要〕 標準化が進んでいる機能記述言語 UDL/1 の意味定義に用いられる非決定的動作モデルシミュレータを試作した。

—13:00~17:20—

(3) 算術演算回路の機能情報抽出

大村昌彦, 安浦寛人, 田丸啓吉 (京大)

〔概要〕 算術演算回路の機能を論理回路記述から抽出し、論理式ではなく算術式を用いて表現する手法について述べる。

(4) 機能設計支援システム STL tools の図的入力法

小林一夫, 若林春夫, 脇村慶明 (NTT)

〔概要〕 マイクロプログラムと布線論理を自動生成する CAD システムにおける機能仕様の図式入力法を報告する。

(5) 機能レベルシミュレーションの一手法

水野雅信, 高井裕司, 村岡道明 (松下電器)

〔概要〕 CT 方式（コンパイル方式と表駆動方式を混合しイベントで制御）を用いた機能レベルシミュレーションの一方法について述べる。

(6) 論理関数の共有二分決定グラフによる表現とその効率的処理手法

湊 真一, 石浦菜岐佐, 矢島脩三 (京大)

〔概要〕 論理合成・検証・シミュレーション等の基礎である論理関数の効率的な表現法、その処理手法について述べる。

(7) 共有二分決定グラフを用いた時間記号シミュレーション

石浦菜岐佐, 出口 豊, 矢島脩三 (京大)

〔概要〕 フィードバックループを含む論理回路を扱える時間記号シミュレーションのアルゴリズムについて述べる。

(8) トランスダクション法の評価と改良

藤田昌宏 (富士通研)

〔概要〕 多段論理回路簡化アルゴリズムであるトランスダクション法の評価と二分決定グラフを用いた改良について述べる。

12月15日(金)

—10:00~12:00—

(9) 2段パスロジック非同期順序回路合成

趙 慶 録, 浅田邦博 (東大)

〔概要〕 状態割当に線形コードを用いた2段パスロジック回路合成手法を提案し、コンパクトな回路が合成でき

ることを示した。

(10) 入力デコーダ付き AND-EXOR 形 PLA の設計アルゴリズム

笹尾 勤 (九工大), 東田基樹 (三菱電機)

〔概要〕 入力デコーダ付き AND-EXOR 形 PLA 設計用として 5 種類の積項変形ルールを用いたアルゴリズムを提案する。

(11) 論理回路最適化の一手法

三浦順子, 竹田信弘, 神戸尚志 (シャープ)

〔概要〕 ルールベース手法に基づく論理回路最適化システムについて報告する。

—13:00~16:40—

(12) 論理合成システム LODES の論理最適化手法

横山敏之 (松下電子), 秋吉克一, 鈴木和代 (松下ソフトリサーチ)

〔概要〕 論理合成システム LODES における組合せ論理の多段最適化手法について報告する。

(13) 論理合成システムを用いたシミュレーションエンジン用 LSI の設計手法

稲田俊夫, 北村幸太, 浜崎良二, 白木 昇, 平川和之 (沖電気)

〔概要〕 シミュレーションエンジン用 LSI 設計に際し使用した論理合成を用いた短 TAT な設計手法とその有用性を示す。

(14) 論理合成による VLSI 設計システム: FUSION

鈴木重信, 谷下久斗, 吉川 浩, 黒木加奈女, 一柳 洋 (日電), 近藤 明 (日電エンジニアリング)

〔概要〕 論理合成プログラムを核に人手マクロ機能・後処理機能の付加等で, 実用的な VLSI 設計システムを開発した。

(15) SP 応用テスト生成システムにおける高検出率化手法の評価

高山浩一郎 (富士通研)

〔概要〕 SP 応用テスト生成システムにおいて, 入力探索順序を動的に変更することで高検出率を達成する手法を評価する。

(16) レイアウト設計システムにおけるデータ管理方式について

小島直仁 (早大), 佐藤政生 (拓大), 大附辰夫 (早大)

〔概要〕 レイアウト設計において扱うデータを統一して管理する管理方式と, それを用いた設計システムについて考察する。

\* 今回の研究会は電子情報通信学会 (VLSI 設計技術研究会) との共催で開催されます。12月14日(木)の研究会終了後, 懇親会を予定しております。

## ◆ 第42回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 13 件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 宇野 栄, 中嶋正之, 守屋慎次)

日 時 平成元年 12 月 14 日 (木) 13:00~16:40

12 月 15 日 (金) 10:00~17:00

会 場 NTT 横須賀研究開発センター 121A 会議室

〔横須賀市武 1-2356, 京浜急行 (久里浜線): 野比下車 (品川から約 60 分, 横浜から約 45 分), 京急バス: 通信研究所行終点で下車 (約 10 分), またはタクシー (約 10 分). Tel. 0468 (59) 2891〕

12 月 14 日 (木)

—13:00~16:40—

### 議 題

#### 基 礎

(1) パターン認識の数学的理論 (第 XV 部パターンの構造的類似性をもたらす 4 種類の収縮写像)

鈴木昇一 (文教大)

〔概要〕 処理対象パターンの近似を与える 4 種類の収縮画像について述べる。

(2) 正規直交判別ベクトルの組合せによる特徴抽出 松浦 豊, 浜本義彦, 金岡泰保, 富田真吾 (山口大)

〔概要〕 特徴を抽出する際に, 特徴の組合せによる評価を行うという方法を提案し, その有効性を実験的に検討する。

## 画 像

- (3) 中心点に着目した指紋画像の一分類法 伊藤伸一郎, 金岡泰保, 浜本義彦, 富田真吾 (山口大)  
 [概要] 指紋自動照合システムにおいて, 照合の効率を向上させるために必要となる分類法について検討する.
- (4) 位置関係を利用した画像検索システム 高橋友一, 島 則之, 岸野文郎 (ATR)  
 [概要] 画像内の対象間の位置関係を含む内容記述を手がかりとする画像検索システム SPADE について述べる.
- (5) On Identifying Symmetry of a Three-Dimensional Object from Its Octree プレドラグ・ミノビッチ, 石川聖二, 加藤清史 (九工大)  
 [概要] オクタツリの主軸変換に基づいた, 3次元物体の対称性の認識方法を提案する.

12月15日(金)

—10:00~12:20—

## コンピュータグラフィクスとパターン認識・理解

- (6) 招待講演: 医用3次元画像処理のための基本アルゴリズムと応用例 安田孝美 (名大)  
 [概要] 医用3次元画像の基本処理アルゴリズムとその応用について述べる.
- (7) 3次元デジタル図形分割とその心室自動分離への応用 岡田 稔, 横井茂樹, 鳥脇純一郎 (名大)  
 [概要] 2値図形を領域分割するための3次元デジタル図形分割手法を提案する.
- (8) 2変数プレンディング関数を用いた自由形状曲面モデル 佐々木康仁, 牧野光則, 大石進一 (早大)  
 [概要] 基礎となる曲面に他の曲面をはめ込むことによって形状制御を行う自由曲面モデルを提案する.

—13:30~17:00—

- (9) 空間分割による高速レイトレーシング 広田源太郎 (日本 IBM)  
 [概要] オクタツリによって分割された空間の高速探索アルゴリズムと均等分割アルゴリズムとの比較について論じる.
- (10) 光線追跡法による四元数 Julia 集合の一表示手法 鈴木紀雄 (三重大)  
 [概要] 四元数上での Julia 集合の3次元断面に対し, その近似曲面を光線追跡法により表示する手法を示す.
- (11) 複素数の商力学系から生成されるフラクタル領域 安居院猛, 永江孝規, 中嶋正之 (東工大)  
 [概要] 整数のN進展開を拡張して得られる商力学系を提案し, この力学系から生成されるフラクタル領域を示す.
- (12) 布地物体の変形表現 安居院猛, 西井育生, 中嶋正之 (東工大)  
 [概要] 布地の特徴を保持しながら変形する様子を表現するための簡略化されたアルゴリズムについて述べる.
- (13) 仮想作業空間のためのインタフェースデバイス—SPIDAR— 佐藤 誠, 平田幸広, 河原田弘 (東工大)  
 [概要] 実空間で人間が行う操作における情報と力の流れについて分析を行うことにより, 仮想作業空間の実現に必要な要素について考察した.

\* 今回の研究会は電子情報通信学会 (パターン認識・理解研究会) との共催で開催されます.

## ◆ ソフトウェア工学研究会

第71回の研究会を下記のとおり開催いたします.

開催日 平成2年2月8日(木)・9日(金)

会場 徳島大学

発表をご希望の方は, 平成元年11月30日(木)までに研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要を記入のうえ, 学会事務局研究会担当までお申し込みください.

## ◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第72回 研究会を下記のとおり開催いたします. 今回は合宿形式として充実したディスカッションを行いたいと思います. 奮ってご参加ください.

日時 平成2年1月25日(木)午後~26日(金)午前まで

会場 福井県・芦原温泉 芦泉荘

(福井県坂井郡芦原町堀江十楽 1-1 公立学校共済組合芦原保養所)

形 式 会場に合宿（ワークショップ）

議 題 特集：メモリ・システム・アーキテクチャ

メモリアーキテクチャ，メモリ・システム，メモリ管理ユニット（MMU），機能メモリ，連想メモリ，キャッシュ技術，CPU（MPU）vs MMU，共有メモリ vs 分散メモリ

参加（宿泊）申込み締切り，平成元年12月25日（月）

参加（宿泊）申込み，問合せ先：京大（工）情報工学 柴山 潔

Tel. 075 (753) 5383 (直)，FAX 075 (753) 5379

shibayam@kuis. kyoto-u. ac. jp

## 創立 30 周年記念事業ご賛助について（お知らせ）

すでに本欄でお願いいたしました創立 30 周年記念事業への賛助金については，歴代の会長をはじめ，多数の方のご賛助をいただきました。その芳名を巻末に掲載し，感謝の意を表します。あつくお礼申し上げます。

つきましては，未だご賛助なき会員の方々も，創立 30 周年記念事業の趣旨をご理解いただき，下記により，ご賛助願いたく存じます。

なお，去る 8 月末に締切られた記念論文の寄稿は，予想を大きく上廻り，114 編にのぼり，また記念式典は来年 6 月 18 日に虎の門パストラルに内定されるなど，記念事業の準備も本格化いたしております。

### 記

賛助金募集額 1 口 1,000 円 何口でも可

送金方法 4 月号巻末綴込の専用郵便振込用紙をご利用ください。若しこの振込用紙のない方は，送料無料の郵便払込用紙（赤色）を使用し，裏面通信欄に 30 周年記念賛助金何口と必ずご記入ください。

募集期間 平成元年 4 月～平成 2 年 3 月です。なるべく早めにご送金ください。

- 郵便振替口座 東京 5-83484
- 送金先 社団法人 情報処理学会

## 平成元年度研究賞の表彰

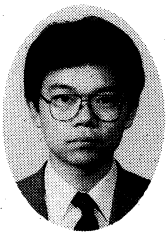
研究賞は、本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られるものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

この賞は研究会活動活性化の施策に基づき、昭和62年度から新設され、本年度は去る10月16日に九州工業大学で開催された第39回全国大会開会式の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が下記の9君に授与されました。

本賞の選考は、表彰規程、研究賞受賞候補者選定手続および研究賞推薦内規に基づき、調査研究運営委員会（委員長 猪瀬 博）が選定委員会となって行います。今年度は表彰対象の11研究会（21研究会を奇数組と偶数組に分け、本年度は前者、来年度は後者の隔年表彰、「コンピュータと教育研究会」は該当なし、および平成元年度新設「人文科学とコンピュータ研究会」を除く）の主査から推薦された計9編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、受賞候補者として推薦のうえ、第334回理事会（平成元年度7月）の承認をえて決定されたものです。

### ● 文脈を考慮したテキスト生成システム

[88-NL-65 (1988.3.25)]



田淵 篤君（正会員）

昭和39年生。昭和61年京都大学工学部電気系学科卒業。昭和63年同大学院工学研究科修士課程修了。同年日本電気(株)入社。現在、日本電気(株)C&C情報研究所勤務。マルチメディアインタ

フェースの研究に従事。人工知能学会、ソフトウェア科学会各会員。

#### 〔推薦理由〕

計算機による文生成の研究はこれまでも、質問応答や機械翻訳などの分野で行われてきたが、その多くは文単位の生成が中心であった。本論文では、生成の対象を文章におき、「まとまった情報を伝達する」という観点から文章生成を行う手法について述べている。具体的には、記述する内容を表す命題間の関係をこれまでの研究とは異なり、より抽象化している点が評価できる。これによって、同一の命題関係からさまざまな修辭の関係を使って表現された文章を生成することが可能となる。本研究の重要性、独自性は研究賞に値する。

### ● 補助線問題における学習

[88-AI-56 (1988.1.14)]



諏訪 正樹君（正会員）

昭和37年生。昭和59年東京大学工学部原子力工学科卒業。昭和61年同大学院原子力工学専門課程修士課程修了。平成元年同博士課程修了。工学博士。同年(株)日立製作所入社。現在、同社基礎研究

所勤務。人工知能の基礎研究、特に学習メカニズムの研究に従事。人工知能学会、日本認知科学会、AAAI各会員。

#### 〔推薦理由〕

本研究は、学習理論の見地から幾何の証明問題を解く過程を取りあげ、補助線を発見する能力を構成的手法で解明することを試みている。すなわち、部分的戦略の学習が補助線の発見の基本的な機構であり、また、問題解決の行き詰まった点の解決が能動的な学習の契機となるとの仮説を提起し、シミュレーション結果を基に興味深い考察を展開している。まだ完成した研究ではないが、新しい学習の枠組みを示唆するとともに、認知科学の1つの方法論を具体的に示している点で、この分野の研究に大きな刺激を与え得るものとして高く評価できる。

## ● ソフトウェア意図伝達支援ツール「COMICS」

[89-SE-64 (1989.2.3)]



仲谷 美江君 (正会員)

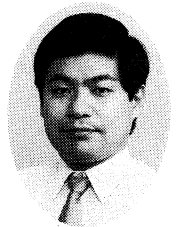
昭和 35 年生. 昭和 58 年大阪大学人間科学部卒業. 同年三菱電機(株)入社. 以来, 同社中央研究所において, マンマシンインタフェース, 理解支援, 協同作業支援の研究に従事. 日本認知科学会会員.

### 〔推薦理由〕

本研究は, 協同作業支援 (CSCW) の立場に立った, ソフトウェア生産向上のための, コミュニケーション支援方法に関するものである. 現状では, 設計者の意図が仕様書等に十分表現しきれない点に着目し, 設計者の意図をイメージとして表現する劇場モデルを考案し, モデルを実現するツール COMICS を開発している. ソフトウェア開発プロセスにおける意図伝達に注目し, 協同作業支援の立場からアプローチしている点にオリジナリティが見られ, しかも, その実用可能性を検証したという点で, 研究賞受賞に値する.

## ● データ駆動型シングルチッププロセッサ EMC-R のアーキテクチャ

[88-ARC-71 (1988.7.7)]



坂井 修一君 (正会員)

昭和 33 年生. 昭和 56 年東京大学理学部情報科学科卒業. 昭和 61 年同大学大学院工学系研究科博士課程終了. 工学博士. 同年電子技術総合研究所に入所. 現在同研究所情報アーキテクチャ部に所属.

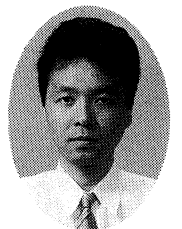
並列処理計算機アーキテクチャ, 特にデータ駆動計算機, 相互結合網, スケジューリング問題などの研究に従事. 電子情報通信学会会員.

### 〔推薦理由〕

記号処理という今後増々重要になる分野向けの新しい計算機アーキテクチャの確立を目指したもので, データフローマシンの優れた並列処理能力をベースに従来型の制御駆動方式を効率化のために加味して優れたプロセッサアーキテクチャを開発し, 実証的手法によって 1 チップ化まで行った. 検討・考察も詳細であり重要な示唆を含んでおりこの分野に対する貢献が大きいと考えられる.

## ● 輪郭線情報と明度情報を用いた筒状物体の形状決定

[88-CV-53 (1988.3.15)]



浅田 稔君 (正会員)

昭和 28 年生. 昭和 52 年大阪大学基礎工学部制御工学科卒業. 昭和 57 年同大学院基礎工学研究科後期課程修了. 同年同大学基礎工学部助手. 昭和 63 年同大学工学部講師. 平成元年度同大学助教授

となり現在に至る. この間昭和 61 年より 1 年間米国メリーランド大学自動化研究センタにて客員研究員. コンピュータビジョンの研究に従事. 人工知能, ロボティクスに興味を持つ. 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, IEEE Computer Society 各会員.

### 〔推薦理由〕

本論文は, コンピュータ・ビジョンの中心的課題である物体形状の認識において, 2 次元画像から 3 次元曲面形状を決定する方法を提案している. この方法は, シーンの照明条件や面の反射係数に関する知識を必要とせず, 2 次元画像上での輪郭線情報と明度情報のみを用いる点に特徴がある. 従来の方法と比べると簡易化が可能であ

り、“筒状”という制約の下ではあるが、物体認識を実用化へ向けて一歩進める意味でも、また、理論的な一手法の提案という点でも評価できる研究である。

## ● コンピュータコミュニケーションシステムの知識型設計支援について

[88-DPS-37 (1988. 5. 20)]



木下 哲男君 (正会員)

昭和 28 年生。昭和 54 年東北大学大学院情報工学専攻博士課程前期課程修了。同年沖電気工業(株)入社。現在、同社研究開発本部総合システム研究所勤務。知識表現モデル、知識型システムとその構

築支援環境の研究開発に従事。著書「人工知能」(共著、共立出版、昭和 62 年)、電子情報通信学会、人工知能学会、日本認知科学会、AAAI、ACL 各会員。

### 〔推薦理由〕

通信システムや分散処理システムの設計の高度な設計支援技術に関して、現在さまざまな観点から研究が行われつつある。本論文は、知識処理の立場から、通信システム設計のための知識型設計方法論の枠組みを提案し、知識工学の手法を利用したユニークな設計支援方式について論じている。通信システム設計支援に対する知識工学技術の適用の方法論を示唆する本研究のアプローチは重要で興味深く、今後の研究の進展が大いに期待される。

## ● 機械設計のための幾何拘束処理システム

[88-CAD-31 (1988. 2. 26)]



安藤 英俊君 (正会員)

昭和 38 年生。昭和 61 年東京大学工学部精密機械工学科卒業。昭和 63 年同大学大学院工学系研究科情報工学専攻修士課程修了。現在、同大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程に在学中。非

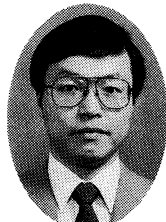
単調推論、制約解法とこれらの CAD への応用に興味を持つ。ACM、精密工学会各会員。

### 〔推薦理由〕

製品の形状は本来さまざまな設計上の制約から規定されるが、従来の形状モデラはモデリングの結果としての形状情報だけを保持しており、制約の変更により形状を整合的に変更することなどが不可能であった。本研究では形状に密接な関わりを持つ幾何学的拘束条件を陽に取扱うモデリングを提案し、一階述語論理の導入と、幾何拘束と生成形状との論理的関係を管理する機構の構築とを行っている。設計者の意図を忠実に反映した製品形状モデリングを可能とするものであり、CAD 分野におけるすぐれた研究として研究賞に値する。

## ● 自己適用可能な部分計算プログラムの実現と応用

[87-SF-22 (1987. 10. 1)]



藤田 博君 (正会員)

昭和 30 年生。昭和 53 年東京大学理学部物理学学科卒業。昭和 55 年同大学院情報工学修士課程修了。同年三菱電機(株)入社。昭和 61 年(財)新世代コンピュータ技術開発機構に出自。プログラム変

換等の研究に従事。日本ソフトウェア科学会、ACM 各会員。

### 〔推薦理由〕

自己適用可能な部分計算プログラムが存在すれば、多くの利点を持つことは周知の事実である。例えば、コンパ

イラ・コンパイラを容易に構成することができる。しかし、現実的意味のある自己適用可能な部分計算プログラムを構成するのは困難だと考えられていた。本論文は、この問題を肯定的に解決するものであり、Prolog を用いると自己適用可能な部分計算プログラムが非常にコンパクトに記述できることを示した。さらに、部分計算プログラムを用いて、インクリメンタルにコンパイルを行う場合の理論を展開した。これらの成果は研究賞に値する。

## ● ストリーム・プログラムのインライン展開

[88-PL-15 (1988. 2. 19)]



久世 和資君 (正会員)

昭和 34 年生。昭和 57 年筑波大学第三学群情報学類卒業。昭和 62 年同大学院博士課程工学研究科(電子・情報工学専攻)修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。同社東京基礎研究所に勤務(副主

任研究員)。現在、オブジェクト指向プログラミング言語とその処理系に関する研究、開発に従事。プログラミング言語、並列処理、分散処理に興味を持つ。工学博士。日本ソフトウェア科学会、ACM、IEEE Computer Society 各会員。

### [推薦理由]

本論文は、ストリームを介して通信する並列プログラム(ストリーム・プログラム)を、ペトリネットを用いて逐次プログラムに変換する手法を示したものである。ストリーム・プログラムを単一プロセッサで実行する場合、擬似並列実行のオーバーヘッドをいかに軽減するかが問題となるが、本論文ではストリーム・プログラムの解析にペトリネットを適用し、逐次プログラムへの変換の可能性を調べると共に、変換コード・サイズの最小化も考慮している。提案された技法はそれ自身興味深いものであり、またストリーム・プログラムの実用化に道を開くものとして評価できる。

## 本会協賛等の行事案内\*

### 21 世紀の情報通信と電波科学—通信総合研究所関西支所発足記念シンポジウム—

平成元年 12 月 5 日 (火)

神戸国際会議場

### SICE 基礎講習会—デジタル制御—

平成 2 年 1 月 9 日 (火)~10 日 (水)

東京・家の光会館

### SICE 基礎講習会—デジタル信号処理—

平成 2 年 1 月 22 日 (月)

東京・家の光会館

### 特別講演会「AHP: 基本的考えから新しい応用まで」

平成 2 年 1 月 22 日 (月)

東京工業大学百年記念館

### 第 3 回 シグナル・システム・コントロール (SSC) シンポジウム

平成 2 年 1 月 23 日 (火)~24 日 (水)

大阪市立大学

### 講習会「ファジィ理論の基礎」

平成 2 年 2 月 7 日 (水)~8 日 (木)

東京大学山上会館

### 第 6 回 ソフトウェアコンファレンス

平成 2 年 3 月 9 日 (金)

(財)大阪科学技術センター

### 第 11 回「知識工学・知能システムシンポジウム」

平成 2 年 3 月 12 日 (月)~13 日 (火)

東京・国立教育会館

### 第 9 回 シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス

平成 2 年 6 月 20 日 (水)~21 日 (木)

東京・明治大学

### 電気学会電力・エネルギー部門全国大会

平成 2 年 7 月 24 日 (火)~26 日 (木)

横浜国立大学

\* 詳細は本号会議案内欄参照

## 第 38 回 全国大会学術奨励賞の表彰

第 38 回 全国大会学術奨励賞は、去る 10 月 16 日～18 日に九州工業大学工学部で開催された第 39 回全国大会の席上、会長から下記 11 君に授与されました。

本賞は今年 3 月開催の第 38 回全国大会（於中央大学）の発表論文を対象に、学術奨励賞委員会（委員長 野口副会長）において表彰規程にもとづき、総発表件数 969 件中推薦のあった 50 名の候補者の中から 22 名を選び、さらに慎重審議の結果、11 名が候補者として推薦され、第 334 回理事会（平成元年 7 月）の承認をえて決定されたものです。

### ステレオ対応探索アルゴリズムの統合による視差画像の生成 (5C-7)

渡辺 正規君（正会員）

昭和 37 年生。昭和 60 年筑波大学第三学群情報学類卒業。現在、同大学大学院博士課程工学研究科に在学中。コンピュータビジョン、人工知能、並列処理に興味を持つ。電子情報通信学会、人工知能学会各会員。

### Scale Space の概念を導入した部分曲線の同定と検索 (6C-2)

小谷 亮君（正会員）

昭和 38 年生。昭和 62 年京都大学工学部電気工学部第二学科卒業。平成元年同大学大学院工学研究科電気工学第二専攻修士課程修了。現在、三菱電機情報電子研究所知識処理開発部に勤務。自然言語インタフェースの研究に従事。

### 自然な文章生成における規範—機械翻訳への応用— (3E-4)

吉村裕美子君（正会員）

昭和 37 年生。昭和 60 年京都大学文学部文学科言語学専攻卒業。同年(株)東芝入社。同社総合研究所情報システム研究所にて、自然言語処理に関する研究・開発業務に従事。

### 機械翻訳システム PIVOT の日本語格フレームモデル (6E-4)

野村 直之君（正会員）

昭和 37 年生。昭和 59 年東京大学工学部計数工学科卒業。同年日本電気(株)入社。汎用大型機制御ファームウェアの開発を経て、同社 C & C 情報研究所メディアテクノロジー研究部に所属。自然言語理解、機械翻訳の研究に従事。

### 代数学的手法に基づく幾何学的推論システム (1) (3F-8)

伊庭 斉志君（正会員）

昭和 37 年生。昭和 60 年東京大学理学部情報科学科卒業。昭和 62 年同大学大学院工学系研究科情報工学専攻修士課程修了。現在、同博士課程に在学中。平成元年人工知能学会論文賞受賞。人工知能基礎の研究に従事。特に学習、推論、環境モデル、ビジョン、スキューバに興味を持つ。AIUEO、日本認知科学会、人工知能学会の会員。

### Bus 型コンピュータネットワークにおける複数ジョブクラスの負荷分散 (7H-6)

金 宗根君（正会員）

1954 年生。1981 年韓国の嶺南大学電子工学科卒業。1987 年同大学大学院電子工学科計算機専攻修士課程修了。1984 年より韓国の慶北専門大学電子計算科専任講師。1988 年電気通信大学大学院情報工学科博士後期課程入学。OS、分散コンピュータシステム、性能評価などに興味を持つ。韓国電子工学会会員。

#### 画像処理ワークステーションのためのソフトウェア環境 (4)

##### —画像処理プログラミングツール V-Sugar の機能拡張— (7K-3)

岡崎 洋君 (正会員)

昭和 37 年生. 昭和 60 年京都大学工学部情報工学科卒業. 昭和 62 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了. 同年キャノン(株)入社. 情報システム研究所に所属. 以後, 画像処理ワークステーションのソフトウェアに関する研究・開発に従事.

#### 通信プロトコルに対する段階的な試験系列の生成方法 (1M-8)

佐藤 文明君 (正会員)

昭和 37 年生. 昭和 59 年岩手大学工学部電気工学科卒業. 昭和 61 年東北大学大学院工学研究科電気及通信工学専攻修士課程修了. 同年三菱電機(株)入社. 現在, 同社情報電子研究所システム・ソフトウェア開発部に所属. 分散処理システム, 形式的仕様記述技法, 通信ソフトウェア開発環境に関する研究に従事. 電子情報通信学会会員.

#### 既存デバッグツールを利用した高速なビジュアルデバッグ方式 (2M-3)

高橋 健司君 (正会員)

昭和 36 年生. 昭和 59 年東京工業大学工学部情報工学科卒業. 昭和 61 年同大学院理工学研究科情報工学専攻修士課程修了. 現在, NTT ソフトウェア研究所勤務. テスト・デバッグ支援技術, プログラム視覚化に関する研究に従事. 電子情報通信学会会員.

#### 空間的構造特徴による商標図形の内容検索 (5R-9)

加藤 俊一君 (正会員)

昭和 32 年生. 昭和 55 年京都大学工学部情報工学科卒業. 昭和 60 年同大学大学院工学研究科博士課程修了. 工学博士. 昭和 61 年電子技術総合研究所入所. 知能システム部対話システム研究室勤務. 画像の認識と理解, マルチメディアデータベース, 並列処理などの研究に従事. 電子情報通信学会, 人工知能学会, 認知科学会, AVIRG 各会員.

#### パイプラインマージソータにおける String Length Tuning 用フラグ自動生成機構 (4U-4)

楊 維康君 (正会員)

1957 年 5 月 14 日生. 1982 年中国清華大学計算機工程と科学系卒業. 昭和 61 年東京大学大学院工学系研究科情報処理専門課程修士課程修了. 平成元年同大学博士課程修了. 工学博士. 現在, 東京大学生産技術研究所に於いて, 外国人博士研究員としてデータベースマシンのアーキテクチャの研究に従事. 電子情報通信学会会員.

~~~~~

# 「教育におけるコンピュータ利用の新しい方法シンポジウム」

## 開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただきありがとうございました。論文審査の結果8月号の本欄でお知らせしましたとおり、下記のとおり、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。多数の方のご参加をお願いいたします。

日 時 平成元年 12月 14日(木), 15日(金)  
場 所 機械振興会館大ホール (東京都港区芝公園)  
参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)  
申込締切 平成元年 11月 30日 (定員 150 名になり次第締め切らせていただきます)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 12月14日(木)

セッション1 (9:30~11:00) 司会 渡辺 成良 (群馬大)  
● HyperCard に基づくプログラミング言語用知的 CAI システム 酒井 仁, 海尻 賢二 (信州大)  
● 論理的思考・推論能力を育む知的シミュレーションに関する研究  
森 英一 (中間高校), 竹内 章, 大槻 説乎 (九工大)  
● ハイパーメディアと Prolog による知的 CAI システム

明神 知, 井谷 浩二, 寺氏 悟, 大槻 佐枝 (オージー情報システム総研)

セッション2 (11:15~12:45) 司会 対馬 勝英 (大阪電通大)  
● 授業における Groupware 利用の可能性 小郷 直言 (国立高岡短大)  
● 知識取り込み型 CAI: KACE II の実現 池上 一郎, 山本 米雄 (徳島大)  
● IAC——「利用者が教える」というパラダイムによる教育ツール 小谷 善行 (農工大)  
—— 昼 食 (12:45~13:45) ——

セッション3 (13:45~15:45) 司会 伊藤 紘二 (東理大)  
● ITS を指向した認知モデルと教育戦略  
平島 宗, 中村 祐一, 池田 満, 溝口理一郎, 豊田 順一 (阪大)  
● 知的 CAI における教授知識・教授戦略の構成法に関する一考察  
松原 行宏, 長町 三生, 小野 真道 (広島大)  
● 教授知識の階層的分割に基づく教育モデル 中村 祐一, 平島 宗, 上原 邦昭, 豊田 順一 (阪大)  
● 対象理解のための問題解決モデルと教育戦略 柏原 昭博, 平島 宗, 中村 祐一, 豊田 順一 (阪大)  
—— 休 憩 (15:45~16:00) ——

セッション4 (16:00~18:00) 司会 岡本 敏雄 (東京学芸大)  
● 文脈認識により式変形を指導する分数計算の知的 CAI 近藤 弘樹 (佐賀大)  
大槻 説乎, 竹内 章 (九工大), 渡辺 健次 (佐賀大)  
● 知的 CAI システム MICAI における教授方法 知念 徹 (三菱電機コントロールソフトウェア)  
● ITS のための汎用フレームワークの設計と実現 池田 満, 河野 恭之, 溝口理一郎 (阪大)  
奥畑 健司, 野村 康夫 (関西大)  
● バギーモデルと効率の良いエラー同定法 福田 章夫, 徳田 尚之 (宇都宮大)

#### 12月15日(金)

セッション5 (9:00~10:30) 司会 竹内 章 (九工大)  
● 数学学習環境支援システム LETS/Math  
赤石 雅典, 日高 一義, 中山 恭興, 佐貫 俊幸, 宇土 正浩 (日本 IBM)

- テキストベースの自由探訪を支援するシステム

—手がかり表現作成支援と手がかり表現の利用について—

伊藤 紘二, 伊丹 誠 (東理大)

- プログラム理解機能をもつ教育向き知的プログラミング環境

上野 晴樹 (東京電機大)

—休 憩 (10: 30~10: 45)—

#### セッション 6 (10: 45~12: 15)

司会 山本 米雄 (徳島大)

- BASIC 実習教育支援システム BS-ASSIST

加賀 英徳, 対馬 勝英 (大阪電通大)

- 知識とスクリプトによる助言の推論機能について

渡辺 成良, 尾池 弘美 (群馬大), 宮道 壽一 (宇都宮大)

- 知的訓練システム GTS-PDTS の概要

乾 昌弘 (大阪ガス)

—昼 食 (12: 15~13: 15)—

#### セッション 7 (13: 15~15: 15)

司会 乾 昌弘 (大阪ガス)

- 知識定着レベルを導入した ITS —英文変形規則を対象として—

木村 吉伸, 山本 米雄 (徳島大)

- 知識獲得指向の高次推論型学習者モデルの構成について

—集合演算アルゴリズム理解の学習世界において—

岡本 敏雄 (東京学芸大), 松田 昇 (金沢工大)

- 知的 CAI における話題の連続性についての研究

新ヶ江登美夫 (福岡大), 竹内 章, 大槻 説乎 (九工大)

- 知識教授システム MODAL-TUTOR

広瀬 篤嗣, 梶野 修, 原田 佳明 (松下電器)

—休 憩 (15: 15~15: 30)—

#### セッション 8 (15: 30~17: 30)

司会 宇土 正浩 (日本 IBM)

- 個別指導 CAI

廣澤 晃一 (富士通)

- オンライン CMI システムの設計

永岡 慶三 (神戸大)

- 問題解析による C 言語教育支援システム

中津山幹男, 長橋 宏, 西塚 典生, 水沼 充, 杉本 皆子 (山形大)

- ゴール/プラン分析法による初心者 COBOL プログラムの誤り分析

江木 鶴子, 岡村健史郎 (宇部短大), 長田 一興 (近畿大)

## 「教育におけるコンピュータ利用の新しい方法」シンポジウム

## 参 加 申 込 書

平成元年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

|                                |         |           |         |
|--------------------------------|---------|-----------|---------|
| 第一勧銀虎ノ門支店                      | 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632  |
| 三菱銀行虎ノ門公務部                     | 0000608 | 三井銀行本店    | 4298739 |
| 住友銀行東京公務部                      | 10899   | 三和銀行東京公務部 | 21409   |
| 名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会 |         |           |         |

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. )

|     |        |        |   |
|-----|--------|--------|---|
| 請求書 | 通, 見積書 | 通, 納品書 | 通 |
| 請求先 | _____  |        |   |

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

## 「第 31 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これにつよい関心をもち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」多数の方々の参加を希望します。

### 記

日 時 1990 年 1 月 9 日 (火) 午前 10 時 受付開始 (この日の昼食は用意しません)

午後 1 時 開会

11 日 (木) 午後 1 時 閉会

場 所 箱根ホテル小湧園 (神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel. 0460 (2) 4111

交 通 路線バス: 小田原駅表口 <登山バス> 箱根町行~小湧園前 約 40 分

箱根湯本駅~小湧園前 約 30 分

タクシー: 小田原駅表口~小湧園前 約 30 分

箱根湯本駅~小湧園前 約 20 分

参 加 費 (予稿集代、宿泊費を含む、カッコ内は非会員参加費)

☆大学院学生 23,000 円 (26,000 円)

☆大学助手以上、研究所関係者 30,000 円 (35,000 円)

☆会社関係者 35,000 円 (40,000 円)

※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1989 年 11 月 30 日 (木)

注) 1. 参加申し込み後やむを得ず参加を取り消される場合は、12 月 18 日までにお願ひします。取り消しの連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。

2. 会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。

4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第 1 日 1 月 9 日 (火)

○開会の辞 (13:00~13:20)

米田委員長

セッション 1 (13:20~14:40)

##### ●手書きユーザインタフェース

曾谷 俊男, 本間 正之, 幸田恵理子, 福島 英洋, 中川 勇, 中川 正樹, 高橋 延匡 (農工大)

##### ●表エディター

椎尾 一郎, 坂入 隆 (日本 IBM)

——休 憩 (14:40~15:00)——

セッション 2 (15:00~15:40)

##### ●PL/I 初心者エラー相談システム

木下 成顕, 平賀 譲 (図書館情報大)

——休 憩 (15:40~16:00)——

★招待講演 (16:00~17:00)

##### ●コンピュータの mother-tongue はなぜ英語か (仮題)

竹内 啓 (東大)

★報 告 (17:00~17:20)

##### ●夏のシンポジウム、若手の会、GPCC、山内賞の報告

——夕 食 (18:00~19:00)——

○自由討論

第2日 1月10日(水)

セッション3 (9:00~10:20)

- 日本語情報処理指向の並列処理用 OS “OS/omicron”

並木美太郎, 岡野 裕之, 堀 素史, 横関 隆, 早川 栄一, 中川 正樹, 高橋 延匡(農工大)

- オペレーティングシステム開発における「環境問題」 多田 好克(電通大)

——休憩 (10:20~10:40)——

セッション4 (10:40~12:00)

- ラムダ図(LAD): ラムダ式の図形表現

二村 良彦, 野木 兼六, 高野 明彦(日立)

- 種々の比例代表制アルゴリズムの比較について

有澤 誠(山梨大)

——昼食 (12:00~13:20)——

セッション5 (13:20~14:40)

- ニューラルネットワークを用いた制約論理プログラミング

山下 義行(東大)

- M-cube: マルチメディア知識システムの構築環境

寺野 隆雄, 小野田 崇, 鈴木 道夫(電力中研)

上西 勝也(関西電力)

——休憩 (14:40~15:00)——

セッション6 (15:00~16:20)

- スーパーコンピュータ上でのグラフ問題の高速化

安村 通晃, 小島 啓二(日立)

- 形態素解析を利用した日本語スペルチェック

下村 秀樹, 高橋 延匡(農工大)

——休憩 (16:20~16:40)——

セッション7 (16:40~17:20)

- 学術・研究目的のコンピュータコミュニケーション基盤の構築

村井 純(東大)

——夕食 (18:00~19:00)——

○自由討論

第3日 1月11日(木)

セッション8 (9:00~10:20)

- マルチプロセッサ LISP マシン MacELISII

三上 博英, 村上健一郎(NTT)

- 並列 lisp 処理系によるXウィンドウシステム・インターフェイスの構築

新田 善久(東大)

——休憩 (10:20~10:40)——

セッション9 (10:40~12:00)

- 究極のデザイン CAD を目指して

古川 進, 伊藤 誠(山梨大)

山田 晋(トヨタ自動車), 萩原 茂(山梨県工業技術センター)

- コンピュータに「絵」を描かせるには…(Part II)

斎藤 隆文, 高橋時市郎(NTT)

○閉会の辞 (12:00~12:10)

米田委員長

※ 自由討論, ポスターセッション, マイコン/ビデオデモなどを予定しています。参加ご希望の方はご用意ください。

※ 一般講演は, 発表 25 分, 討論 15 分, また招待講演は講演 45 分, 質問 15 分を予定しています。

なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。

## 「第31回 プログラミング・シンポジウム」

## 参 加 申 込 書

1989 年 月 日

1. フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 男・女  
所 属 \_\_\_\_\_  
連 絡 先 (〒) \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

2. 参加区分                      会 員                      非会員

|          |                          |                          |
|----------|--------------------------|--------------------------|
| ☆ 大学院学生  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ☆ 大学助手以上 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 研究所関係者   |                          |                          |
| ☆ 会社関係者  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

                    会員番号 \_\_\_\_\_

※ 参加区分は、該当の□に×を入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。記入のない場合は、会社関係者・非会員として取扱います。

## 3. 送金・支払方法

a. 当日持参します。

¥ \_\_\_\_\_ 也を次の方法で送金します。(送金日 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日)

b. 現金書留      c. 郵便振替 (東京 5-83484)      d. 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

|            |         |           |         |
|------------|---------|-----------|---------|
| 第一勧銀虎ノ門支店  | 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632  |
| 三菱銀行虎ノ門公務部 | 0000608 | 三井銀行本店    | 4298739 |
| 住友銀行東京公務部  | 10899   | 三和銀行東京公務部 | 21409   |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. \_\_\_\_\_)

請求書                      通, 見積書                      通, 納品書                      通  
請求先 \_\_\_\_\_

## 4. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

◇ 年齢 \_\_\_\_ 歳・内緒

◇ 宿泊室は 喫煙室希望・禁煙室希望・どちらでもよい

◇ そのほか特に希望があれば記入してください (必ずそのとおりにすると約束はできません)

## 5. 次の各項目はシンポジウムの運営の参考にします。

◇ 夜の自由討論の希望テーマ \_\_\_\_\_

◇ ポスター・マイコンデモなどの展示, 発表希望 \_\_\_\_\_

## 6. 送付先・問合せ先

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

## 「1990 年情報学シンポジウム」開催について

**期 日** 1990 年 1 月 17 日(水)～18 日(木) 9:45～17:00

**会 場** 日本学術会議講堂  
106 東京都港区六本木 7-22-34 (地下鉄千代田線乃木坂駅前)

**目 的** 科学における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ・知識に関する基本的問題とその整備・利用に関する討議を行ない、研究交流をはかる。本シンポジウムは 1984 年以来毎年開催されている。

**共同主催** 日本学術会議 情報学研究連絡委員会・学術文献情報研究連絡委員会・学術データ情報研究連絡委員会・情報工学研究連絡委員会  
情報処理学会・情報知識学会・人工知能学会・日本医学会・日本化学会・日本数学会・日本地理学会・日本物理学会

**後 援** 化学情報協会・学術情報センター・計測自動制御学会・国際電信電話(株)・情報科学技術協会・情報通信学会・電子情報通信学会・日本医療情報学会・日本科学技術情報センター・日本機械学会・日本金属学会・日本原子力学会・日本工学会・日本材料科学会・日本材料学会・日本生化学会・日本電信電話(株)・日本動物学会・日本農学会・日本分子生物学会・日本分析化学会・日本薬学会

**参加申込** 氏名、連絡先、職名、資料必要の有無を参加申込書に記入し、1989 年 12 月 20 日までに下記に申し込む(当日受付可。ただし資料の不足の際は事前登録者を優先)

**参加費**(資料代として) 共催学協会員 5,000 円 学生 1,500 円 一般 7,000 円

**申 込 先** 情報処理学会 シンポジウム係  
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F Tel 03 (505) 0505 FAX 03 (584) 7925

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

1 月 17 日(水)

特別講演 (10:00～11:00)

司会 米田 幸夫(東海大)

情報学の現状と展望

藤原 譲(筑波大)

マルチメディア情報 (11:00～12:20)

座長 鈴木 健司(NTT)

- オブジェクトベース述語論理型言語とその処理系の開発

畑中 正行, 藤田 岳久, 杉本 重雄, 田畑 孝一(図書館情報大)

- 光ディスクを中心とした音声データベースシステム 牧野 正三, 城風 敏彦, 城戸 健一(東北大)

- 丸め併合法を用いた一般化 Hough 変換におけるディジタル画像からの円図形の検出

塩野 充(岡山理大)

- 連続画像の因子分析による動態機能解析 —肺換気シンチグラムを例にして—

立川 光, 中原壽喜太, 土井 昭孚, 田辺 正忠(香川医大)  
(昼 食)

生物・医学情報 (13:20～15:00)

座長 菅原 秀明(理化学研究所)

- 解剖学における情報処理体系

養老 孟司, 増田 弥生(東大)

- 英語医学文献の機械翻訳の研究 —辞書登録とそれによる翻訳レベルの向上の定量的評価—

木内 貴弘, 開発 成允(東大)

- 蛋白質の属性データベース 沖林 文規, Carl S. Jone, 近藤 淑, 姥澤 愛子, 次田 皓(東理大)

- 蛋白質のデータベースを活用して生物進化を探る

大塚 仁也, ほか 4 名(東理大)

- コンピュータ解析による大腸菌遺伝子のゲノム上の位置と転写方向の決定

渡辺日出海, 国沢 隆(東理大)

(コーヒー・ブレイク)

**情報システムの開発に向けて (15:20~17:00)**

座長 石塚 英弘 (図書館情報大)

- データベースの意味表現と知的アクセス

上原 祐介, 渡邊 豊英, 吉田 雄二 (名大), 福村 晃夫 (中京大)

- LA システム開発用言語

今村 俊雄, 小田 建夫 (塩野義製薬)

- データベースから応用プログラムへの数値データ引き渡しの自動化

—数値情報データベースの新しいサービス方式をめざして—

磯本 征雄 (名古屋市立大)

- ニューラルネットワークの薬学への応用

青山 智夫 (日立コンピュータエンジニアリング), 鈴木 雄二, 市川 紘 (星薬科大)

- 時間を含む情報に関する考察

幡鎌 博 (富士通)

**1月18日 (木)**

**人文社会系データベース (10:00~12:00)**

座長 安澤 秀一 (国文学研究資料館)

- 日本語テキスト・データベースの作成・利用ツールについて

堀池 博巳, 星野 聡 (京大)

- べた書き入力に適した並行型パーサによる中国語文解析

寺下 陽一, 二口 邦夫, 鈴木 悟 (金沢工大)

- G. H. ミードのテキスト・データベース —その紹介と若干の分析例—

後藤 将之 (東大)

- アイス・データベース —人文社会科学への応用—

熊本 孝 (北大)

- AI 技術を応用した経済統計データベース利用支援システム

賀山 茂子, 高藤 淳, 川崎 浄正 (CSK 総合研究所)

- 多部門産業モデル開発に関するデータベースのコンセプトとデザイン

鶴野 公郎 (筑波大)

(昼 食)

**特別講演 (13:00~14:00)**

司会 田畑 孝一 (図書館情報大)

情報学に期待するもの

渡辺 茂 (都立科学技術大)

**環境系データベース (14:00~15:00)**

座長 久保 幸夫 (お茶水女子大)

- 地球環境研究 (気候研究) のためのデータの整備に向けて

増田 耕一 (東大)

- 学術研究用データベース作成上の問題 —歴史天候データベースの作成を通して

吉村 稔 (山梨大)

- 地図情報処理の都市計画への応用

澤田 順夫, 沼上 英雄, 長尾真紀子 (東芝)

(コーヒー・ブレイク)

**理工系データベース (15:20~16:20)**

座長 岩田 修一 (東大)

- 法律文書「既存化学物質名簿」の検索

工藤 喜弘, 境 修 (山形大)

- 腐食環境中の低歪速度引張試験に関する材料データベースの試用

塚田 隆, 横山 憲夫, 中島 甫 (日本原子力研究所)

- 鉄道における故障・事故データベースの構築と安定性評価

福田 久治 (鉄道総合技術研究所)

**総括 (16:20~17:00)**

坂井 利之 (竜谷大)

## 「1990 情報学」シンポジウム

## 参加申込書

1989 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先（住所、会社名、所属）〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○資 料 代（該当するものを○印でかこむ）

会員 5,000 円 一般 7,000 円 学生 1,500 円

○論 文 集 の み（上記資料代プラス 400 円） 冊

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。（金額、送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ。）

a. 現金書留（送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル（社）情報処理学会シンポジウム係）

b. 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. )

請求書 \_\_\_\_\_ 通、見積書 \_\_\_\_\_ 通、納品書 \_\_\_\_\_ 通  
請求先 \_\_\_\_\_

注）申込書は1枚1人としてください（この用紙のコピーで可）。

## CAPE '89 論文集の頒布について

第3回 産業へのコンピュータ応用国際会議（The 3rd Int'l. Conference on Computer Applications in Production and Engineering (CAPE '89)）は去る10月2日～5日に海外23カ国の参加を得て、盛会裡に無事終了いたしました。

同国際会議の論文集（Proceedings）を下記によりお頒けいたしますので、はやめにおもとめください。

価格（送料込み）20,000 円

申込先 日本学会事務センター CAPE '89 事務局

113 東京都文京区本郷 3-23-1 クロセピア本郷

Tel. 03 (817) 5831 FAX. 03 (817) 5836

## 支部だより

### 中部支部

#### 講演会

日時 平成元年12月6日(水) 14:00~16:00  
会場 三重大学工学部20番講義室(津市上浜町 1515)  
演題 ファジィ理論とその応用 松本 邦顕(日立)  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 三重大学工学部電子工学科 木村文隆 Tel. 0592 (32) 1211

日時 平成元年12月8日(金) 15:00~17:00  
会場 静岡大学工学部情1教室(浜松市城北 3-5-1)  
演題 第5世代コンピュータと知識システム 滝 寛和(ICOT)  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 静岡大学工学部情報知識工学科 山口高平 Tel. 0534 (71) 1171 (内 502)  
(お願い) 車の乗入れは学内規制がありますので、公共交通機関をご利用ください。

日時 平成元年12月22日(金) 13:30~15:30  
会場 豊橋技術科学大学C棟2階会議室(豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1-1)  
演題 ニューラルネットにおける汎化と学習可能性 上坂 吉則(東理大)  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 豊橋技術科学大学情報工学科 阿部健一 Tel. 0532 (47) 0111

日時 平成2年1月12日(金) 9:15~10:15  
会場 岐阜大学工学部 201 教室(岐阜市柳戸 1-1)  
演題 人工知能と認知科学 太原 育夫(東理大)  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 岐阜大学工学部電子情報工学科 神保雅一 Tel. 0582 (30) 1111

(お詫び) 10月31日(火)に三重大学にて開催予定であった講演会「これからのソフトウェア・システム開発の展望」は、講師の急逝により中止いたしました。当日大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

#### 専門講習会

——移動通信の将来と基盤技術——

期日 平成元年12月7日(木)~8日(金)  
会場 NTT データ通信 NTT DATA 東銀ビル3階 研修・会議室(名古屋市中区錦 2-17-21)  
参加費 11月30日までの予約(含テキスト代)  
正会員 8,000 円(学生 5,000 円), 非会員 12,000 円  
12月1日以降の申込~当日(含テキスト代)  
正会員 13,000 円(学生 10,000 円), 非会員 17,000 円  
\*テキストのみ, 3,000 円/冊(送料込)  
定員 90 名(先着順)

**申込方法** はがき大用紙に、①氏名、②勤務先と所属、③住所と電話番号、④所属学会を記入し、参加費を添えて現金書留にて下記事務局宛て申し込む。(注：消印をもって申込日時とします。なお、情報処理学会本部では扱いませんので注意してください。) 折り返し、参加証を送付します。

**申込締切** 11月30日(定員になり次第締切ります。)

**申込先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社企画部内  
情報処理学会中部支部事務局 支部幹事 小川典孝 Tel. 052 (204) 4517

## プログラム

### 7日(木)

|                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| 開催挨拶 (10:00~10:10)            | 本告 光男 (中部支部長)     |
| 移動通信の姿と電波行政 (10:10~11:30)     | 寺崎 明 (郵政省)        |
| 移動通信の現状と将来像 (12:40~14:00)     | 島 伊三治 (関西テレターミナル) |
| 移動体データ通信の現状と将来 (14:20~15:40)  | 吉川 貞行 (NTT データ)   |
| 自動車電話システムとその将来像 (15:40~17:00) | 向井 正 (NTT)        |

### 8日(金)

|                                         |              |
|-----------------------------------------|--------------|
| 開催挨拶 (10:00~10:10)                      | 本告 光男        |
| 車社会における移動通信の役割 (10:10~11:30)            | 水谷 集治 (日本電装) |
| 移動対衛星通信用車載アンテナ (12:40~14:00)            | 西川 訓利 (豊田中研) |
| 干渉とフェーディングに強い RZ SSB 通信方式 (14:20~15:40) | 大黒 一弘 (NTT)  |
| 移動通信の新しい信号処理 (15:40~17:00)              | 岸 政七 (愛工大)   |
| 閉会の辞 (17:00~17:10)                      | 本告 光男        |

## 見学会

**日 時** 平成元年 11月30日(木) 8:30~19:45

**見学先** 国立民族学博物館 (吹田市千里万博公園 10-1)

**集合場所** JR 名古屋駅西口 (旧壁面前) に 8:30 までに集合 (時間厳守)

**行程(内容)** 8:30 JR 名古屋駅西口集合

8:45 出発 (貸切バス)

13:30~14:30 講演「民博における画像データベースについて」 杉田 繁治 (民 博)

14:30~16:30 見学 (コンピュータ室も含む)

19:45 JR 名古屋駅西口解散

**参加費** 情報処理学会中部支部会員は無料、一般は博物館入館料のみ自己負担

**定 員** 40 名 (先着順)

**申込方法** 往復はがきに「民博見学会申込」と記入し、会員番号、氏名、所属、連絡先住所・電話番号を明記のうえ、下記事務局へ送付する。

**申込締切** 11月22日(水) 必着

**問合せ先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社企画部内  
情報処理学会中部支部事務局 Tel. 052 (204) 4517

## 関 西 支 部

### セ ミ ナ

——オブジェクト指向ソフトウェア——

**日 時** 平成元年 11月24日(金)~25日(土)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4)

参 加 費 会員 24,720 円, 非会員 27,810 円

問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

## プログラム

### 24 日 (金)

支部長あいさつ (10:20~10:30)

津田 孝夫 (京 大)

オブジェクト指向総論 (10:30~12:00)

米澤 明憲 (東工大)

オブジェクト指向 LISP 言語—CLOS— (13:00~14:30)

井田 昌之 (青学大)

オブジェクト指向C言語—C++, COB, Objective-c— (14:30~16:00)

上村 務 (日本 IBM)

分散システムのための新しい計算パラダイムに向けて (16:15~17:45)

所 真理雄 (慶 大)

### 25 日 (土)

オブジェクト指向言語—SmallTalk-80— (9:30~11:00)

上林 憲行 (富士ゼロックス)

ユーザインタフェース構築ツール—NEXT を中心に— (11:00~12:30)

下條 真司 (阪 大)

オブジェクト指向データベース (13:30~15:00)

牧之内顕文 (富士通研)

オブジェクト指向と知識ベース (15:15~16:45)

横田 一正 (ICOT)

## 支 部 大 会 案 内

日 時 平成元年 12 月 14 日 (木) 10:30~17:00

会 場 島津製作所 マルチホール (大阪市北区芝田 1-1-4, 阪急ターミナルビル 14 階)

参 加 費 無 料

問合せ先 530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第 1 ビル 8 階

(財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

## プログラム

シンポジウム「並列・並行処理の理論と実際」

支部長あいさつ (10:30~10:40)

富田 眞治 (九 大) (10:40~11:30)

岩間 一雄 (京産大) (11:30~12:20)

中田登志之 (日 電) (13:30~14:20)

鈴木 則久 (日本 IBM) (14:20~15:10)

討 論 (15:30~17:00)

## 中 国 支 部

## 講 習 会

——生産技術におけるパソコンの利用—生産ラインでの活用例——

日 時 平成元年 11 月 17 日 (金) 8:55~17:00

会 場 産業技術交流センター (広島市中区千田町 3-7-47)

定 員 100 名

参 加 費 会員 (協賛団体会員を含む) 10,000 円, 非会員 15,000 円, いずれも資料 1 冊代金を含む。資料のみ, または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合 1 冊 4,000 円。

申込締切 平成元年 11 月 13 日 (月)

申込方法 はがき, またははがき大の用紙に「生産技術におけるパソコンの利用」と題記し, ①氏名・会員資格, ②勤務先 (名称, 所属部課名, 所在地, 電話番号), ③通信先をご記入のうえ, 参加費を添えて

お申込みください。なお銀行振込みの場合はそのむねをお知らせください。

#### 送金方法

現金書留または銀行振込

広島銀行西条支店 普通預金 口座番号 051-1-0863238 精密工学会中国四国支部

#### 申込先

724 東広島市西条町下見 広島大学工学部第1類内 精密工学会中国四国支部

Tel. 0824 (22) 7111 (内 3263)

#### プログラム

司会者挨拶 (8:55~9:00)

生産システムへの FA パソコン応用の事例と動向 (9:00~10:00)

和田 憲治 (日電)

パソコンネットワークによる工程管理 (10:00~11:00)

犬田 真一 (日立)

フレキシブルアセンブリセンター (FAC) でのパソコン活用 (11:00~12:00)

我妻 雄策 (キヤノン)

自動車生産におけるパソコンの活用 (13:00~14:00)

三枝 行雄 (ホンダエンジニアリング)

自動車の生産ラインでの活用例 (14:00~15:00)

内藤 正 (トヨタ自動車)

パソコンを使った高機能 FMS (15:00~16:00)

今城 忠浩 (牧野フライス製作所)

討論 (16:00~17:00)

### 四 国 支 部

#### 講 演 会

#### 日 時

平成元年 11 月 16 日 (木) 14:30~16:30

#### 会 場

高知工業高等専門学校視聴覚室 (高知県南国市物部字新開乙 200-1)

#### 演 題

神経生理学における情報処理

佐藤 隆幸 (高知医大)

#### 参 加 費

無 料 (参加資格は問いません)

#### 問合せ先

高知工業高等専門学校電気工学科 益弘昌典 Tel. 0888 (63) 3141

#### 講 習 会

——ニューロコンピュータと情報処理——

#### 日 時

平成元年 12 月 2 日 (土) 13:00~17:00

#### 会 場

徳島厚生年金会館 (徳島市南前川町 3-1-22)

#### 定 員

60 名

#### 参 加 費

会員 (賛助会員を含む) 6,000 円 (学生 1,500 円), 非会員 8,000 円 (学生 2,000 円), いずれも資料 1 冊代金を含む。資料のみ, または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合は, 1 冊 2,000 円。

#### 申込締切

平成元年 11 月 17 日 (金)

#### 申込方法

下記の申込書にご記入のうえ, 参加費を添えてお申込みください。

#### 送金方法

現金書留または銀行振込

阿波銀行助任橋支店 口座番号 0304244 情報処理学会四国支部

#### 申込先

770 徳島市南常三島町 2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内 情報処理学会四国支部事務局

Tel. 0886 (23) 2311 (内 4744, 4752)

#### プログラム

ニューロコンピューティングの基礎 (13:00~14:00)

甘利 俊一 (東大)

ニューロコンピューティングの大気汚染濃度予測への応用 (14:00~14:40)

馬場 則夫 (徳島大)

ニューロコンピューティングの画像処理への応用 (14:40~15:20)

大松 繁 (徳島大)

パーソナルニューロコンピュータについて (15:30~17:00)

菊地 喜康 (日電インフォメーションテクノロジー)

きりとり

## ニューロコンピュータと情報処理講習会申込書

年 月 日

氏 名

勤務先

|       |  |
|-------|--|
| 名 称   |  |
| 所 属   |  |
| 所 在 地 |  |
| 電話番号  |  |

送金方法 現金書留 銀行振込 (○印でお示ください)

平成元年度会費および論文誌・欧文誌購読費の  
納入にご協力ください

来る 11 月下旬に、本年度会費未納の方には、郵便振替用紙によって、再々請求のお願いをいたします。ご承知のとおり、会費は前納制（すでに多くの方がたは納入済みです）ですし、会費納入の催促は手数や郵便料がかさみ、大きな負担となっております。事情をお察しのうえ、早急にご納入くださいますよう、よろしくお願いします。

〔預金口座自動振替の会員へ〕

去る 7 月 27 日の振替日に、残高不足等で振替未済の会員は、次回振替日が来年 3 月 27 日となります。会費が 1 年間滞納となりますので、振替未済の方は会員係に連絡いただき、早急に別途ご納入ください。

## 学会誌送本先の住所等の変更届について（お願い）

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（前号末尾に添付）にて氏名、会員番号を付し、早速にご連絡ください。異動の受付は毎月 20 日締切り、翌月号から変更となります。21 日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご注意ください。

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」（月刊）および欧文誌 “Journal of INFORMATION PROCESSING”（略称 JIP・季刊）は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書（コピーにて可）にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は 10 月号 1274 ページにあります。

| 年間購読料 | 会 員     | 非 会 員               |
|-------|---------|---------------------|
| 論 文 誌 | 4,500 円 | 7,800 円             |
| 欧 文 誌 | 3,000 円 | 6,000 円（海外 7,000 円） |

平成 年 月 日

論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。（該当欄を○で囲む） 会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員（正，学生，賛助）・非会員

連絡先（〒 \_\_\_\_\_）

Tel. \_\_\_\_\_

送本先（〒 \_\_\_\_\_）

注）会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌（申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入）

a. 情報処理学会論文誌（\_\_\_\_\_巻\_\_\_\_\_号から送本希望）

b. 欧文誌 “Journal of INFORMATION PROCESSING”（\_\_\_\_\_巻\_\_\_\_\_号から送本希望）

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。（送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日）

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込（\_\_\_\_\_ 銀行宛）

4. その他（学会事務局への連絡事項）